

2015-B					
拠出金・基金の 名称		洋上漂着物に係る海洋表層環境調査			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】北太平洋海洋科学機関(PICES)					
【所管官庁担当局課・室名】環境省水大気環境局水環境課海洋環境室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 2011年の東日本大震災で洋上に流出した大量の木材等が、太平洋を横断して北米大陸西岸に漂着している。本件について、現地米国及びカナダにおいては、木材等に付着した日本由来の海洋生物(外来生物)の脅威が大きな話題となり、現地の海洋生態系や水産業への重大な影響が懸念されているところ。このため、現地での科学的事実に基づかない無用な混乱を防止する観点から、これら日本由来の海洋生物のリスク評価等を実施する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千カナダ・ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	127,802	1,291		1カナダドル = 99円	0
平成26年度	103,371	1,100		1カナダドル = 99円	0
平成25年度					
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 3ヶ年(平成26-28年度)の本事業の成果は、現地での対策(回収の優先順位の付与、長期モニタリング計画)や正確な情報の提供に有用であるため、本事業に関する期待は国内外で高い。また、日米加三カ国の科学者が関与することで、公平で透明性の高い調査結果を公表することができる。加えて、仮に日本由来の海洋生物の定着等が事実であっても、日米加三カ国の科学者の連携の下、適切な拡大防止策等を速やかに提案することが可能である。					